

令和3年度の決算と事業のあらまし

令和3年度の事業概要は次のとおりです

① 給水状況

給水人口	76,279人	前年度比	670人 (0.87%) の減
給水戸数	34,887戸	前年度比	142戸 (0.41%) の増
総配水量	9,845,199m ³	前年度比	12,980m ³ (0.13%) の減

② 建設改良

向町浄水場中央監視装置等更新工事を令和3年度から令和6年度までの継続費として工事を開始しました。水道管網の整備拡充や老朽管の更新を実施し、より安全で安定した水道水の供給を図るとともに、災害に強いライフラインの構築に努めました。整備・更新した配水管は約5.3kmで、総延長は561kmになりました。

〈令和3年度事業運営状況〉

水道事業では平成29年度に、長期的な視点から50年先100年先を見据えて、これまでにない厳しい社会情勢に対応し、水道事業を未来に繋げるため、水道事業の基本方針を示すことを目的に、「行田市水道事業ビジョン」を策定しました。

今後も、「行田市水道事業ビジョン」に基づき収入の確保や経費の削減に努め、健全な水道事業経営を推進してまいります。

なお、令和3年度の事業運営状況については、以下のとおりです。

指標名	内容	令和3年度	令和9年度目標値
経常収支比率	(経常収益/経常費用)×100	121.0%	100%以上を維持
企業債残高対給水収益比率	(企業債現在高合計/給水収益)×100	400.2%	450%以下
施設利用率	(一日平均配水量/一日配水能力)×100	51.8%	65.0%
管路更新率	(当該年度に更新した管路延長/管路延長)×100	0.34%	1.05%

経常収支比率 …収益で費用をどの程度賄えているかを表す指標で、単年度の収支が黒字であることを示す100%以上であることが必要です。

企業債残高対給水収益比率 …給水収益に対する企業債残高の割合で、企業債残高の規模を表す指標です。

施設利用率 …一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。

管路更新率 …当該年度に更新した管路延長の割合を示す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できます。

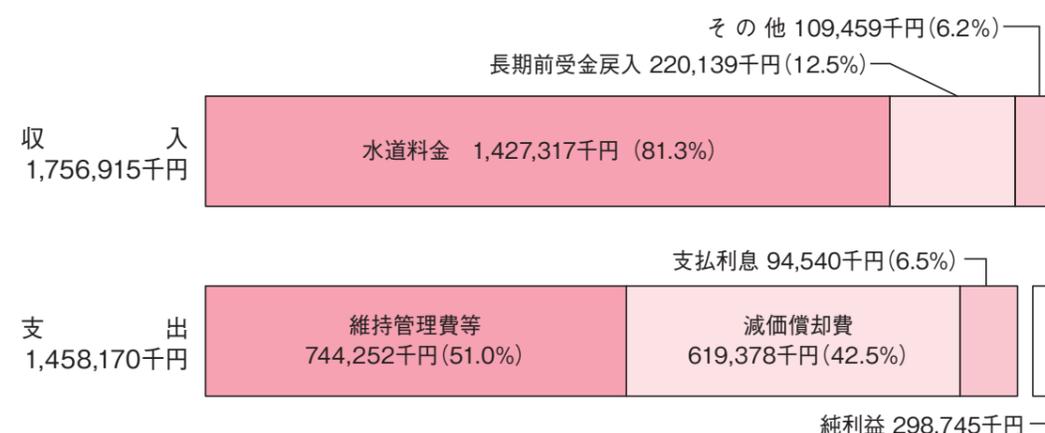
令和3年度 水道事業会計の決算概要は次のとおりです

① 収益的(営業部門)収支(金額は税抜きで表示)

収益的収支は、水道水を供給するなどの営業活動の結果を表すものです。

収入	1,756,915千円	前年度比	25,333千円 (1.46%) の増
支出	1,458,170千円	前年度比	8,644千円 (0.59%) の減

収支差引額(純利益) 298,745千円 前年度比 33,977千円の増



② 資本的(建設部門)収支(金額は税込みで表示)

資本的収支は、水道施設の建設・改良工事及び企業債償還などにかかる資金の収支を表すものです。

収入	500,542千円	前年度比	164,302千円 (48.86%) の増
支出	1,055,159千円	前年度比	191,988千円 (22.24%) の増

収支差引で 554,617千円の資金不足となりましたが、この不足額は減価償却費などの内部留保資金で補てんしました。

